2017 年 9 月 20 日
NPO 法人　地域の未来・志援センター

2017 年度情報交流会

「山・川・里・海　大交流会」開催速報

～豊かな自然を活かすネットワーク in 三重 北勢～

●開催日…2017 年 9 月 16 日（土）　12：30～20：30

●会場……じばさん三重（三重県四日市市安島 1 丁目 3 番 18 号）

●主催……NPO 法人地域の未来・志援センター/一般財団法人セブン-イレブン記念財団

●後援……三重県、いなべ市、桑名市、東員町、四日市市
環境省中部地方環境事務所

●協力……青川ネットワーク、いなべ木の駅 龍華驛、いなべ市市民活動センター
NPO 法人エシカ、いなべの里山を守る会、桑員エコリーグ、NPO 法人桑竹会
NPO 法人生ごみリサイクル思考の会、山造り研究所
環境教育ネクストステップ研究会、22 世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
四日市ウミガメ保存会
環境省中部環境パートナーシップオフィス、なごや環境大学

●参加者数……　一般参加者 76 名（目標数 100 名）
＊前回、前々回のリピーター：21 名
＜事前申込み 75 名、当日参加 3 名、当日キャンセル 2 名＞
※スタッフ：理事 7 名、事務局 2 名、インターン生 2 名

プログラム

＜2017年9月16日（土）12：30～20：30＞

時　間	内　容
12：30～13:00 (30分)	**第一部　開会式** ◆趣旨説明＆主催者あいさつ　地域の未来・志援センター 理事長竹内ゆみ子 ◆主催者あいさつ　（一財）セブン-イレブン記念財団事務局長　星　劭 ◆歓迎あいさつ・グループワークの説明 地域の未来・志援センター 理事　　辻　久好 ＊グループワーク・全体会案内
13：00～15:00 (2時間)	**「山・川・里・海 つながりづくり」グループワーク**
15：00～15：15 (15分)	**移動 ・ 休憩**
15：15～16：35 (1時間20分)	**全体会** ◆グループワーク発表（5分×10グループ） ◆告知タイム ・地域と世界がつながるフォーラム ・アースデイいびがわ ・ESD先駆的拠点支援事業（EPO中部） ・助成金セミナー
16：35～16：50 (15分)	**第一部　閉会** ◆あいさつ 環境教育ネクストステップ研究会代表　寺田卓二氏 ・第二部 懇親会のご案内 ・アンケート記入
16：55	**第一部　閉会**
17：15～17：30 (15分)	**地元協力者、ファシリテーターを交えた中締め**
18：00～20：30 (2時間30分)	**第二部　懇親会** 乾　杯　　NPO法人生ごみリサイクル思考の会　理事長　川島　浩氏 閉会挨拶　地域の未来・志援センター 理事　　渡辺幸久

【オープニング】　5F 大研修室

↑趣旨説明

↑主催者あいさつ

↑歓迎あいさつ

◆趣旨説明と歓迎挨拶より

地元の環境団体と協働開催第３弾！

今回の情報交流会は、2015 年度の渥美半島（愛知県）、2016 年度の揖斐川流域（岐阜県）に続き、地域に根差した環境団体とともに開催することになりました。地元協力者の方々の想いとして、イベント後に実際のつきあいが生まれるよう、本気の話し合いをしたいという要望があったこと、それをベースに講演会などの目玉企画をあえて省き、グループワーク中心のプログラムとしたことが今回の特徴です。

そして、よその地域の方々の考えや情報も共有したい！との考えを受け、また、地域のネットワークづくりに共感し、愛知・岐阜で参加してくださった方々がリピーターとして 20 名程参加されています。

テーマは『グループワークの出会いをこの日だけで終わらせない！』

環境団体、NPO の交流会等は数多く開催されていますが、参加者同士が互いの活動内容、その背景や考えまで話し合える会はあまりありません。つながりづくりが重視される今こそ、少人数でじっくり言葉を交わし、参加者同士が知り合える会にしたいと思い、今回の運びとなりました。この機会に、皆さんの良い出会いが生まれることを願っています。

【グループワーク】①　5F 大研修室

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 伊藤　三洋	三重県桑名市	NPO 法人多度自然育成の会/理事長	里
ファシリテーター補助 平野　智也	三重県	四日市大学	
辻野　兼範	静岡県浜松市	静岡県立浜松北高等学校	海
中畑　栄一	三重県四日市市	いなべの里山を守る会	里
中村　賀久	岐阜県揖斐川町	いびがわミズみずエコステーション	川・里
野尻　美和	三重県四日市市	クラブエコウォーター	その他
飯谷　雄一郎	三重県桑名市	桑名市環境安全課	その他
山岡　満男	三重県いなべ市	竜の森林保全の会	山

【全体発表より】
『行政とつながることは難しい。どのように関わっていったらよいか』を中心に話し合いを進めた。例えば水辺の環境保全。アダプト・プログラムは、行政が市民に物品を提供して進める環境美化活動。これもよいが、やはり住民主導となる方が良い。
住民の声や市民活動から生まれた提案などが、行政の施策には組み込まれない。どうしたらよいのか？　→《参加者の経験談より》子どもたちへの環境啓発活動から地域を変えていく。PTA のおやじの活動を続けてきた。親から子へのつながりで、行政にも声が届くようになっていく。
≪提案≫同メンバーが集まれる次回があるとよい。今日のメンバーそれぞれが、次の機会に『私たちの活動は、こんなふうにして行政とのつながりを持ち始めています』と報告し合えるとよい。

【グループワーク】②　5F 大研修室

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 寺田　卓二	三重県四日市市	環境教育ネクストステップ研究会 /代表	その他
ファシリテーター補助 蒸野　琴梨	三重県	桑竹会学生ボランティア	山
荒木　正俊	三重県四日市市	エコ生活推進ねっと	その他
大木　毅	三重県	多度自然育成の会	里
酒井　重信	三重県桑名市	NPO 法人桑竹会	山
村木　秀行	三重県四日市市	PPK四日市	里山
服部　淑子	岐阜県大垣市	まち創り	里
安田　央	三重県	青川ネットワーク	川

【全体発表より】
メンバー間の課題の抽出から行った。課題は以下５つ。
①　人材　②活動をどのように広げたら良いか？　③資金　④竹林の手入れ・活用　⑤行政との連携
≪課題解決に向けて≫①②は、人が楽しく集まれるしくみが大事。青川ネットワークの例。魚釣りが好きな人の集まり。魚釣りだけでなく、山菜を採ったりバーベキューをしたり、楽しめる内容が中心で、人は集まりやすい。楽しい！美味しい！が大事では？
⑤について。意外に知らない行政の制度がある。情報を得て、それらを活用する。
≪まとめ≫やはり「つながり」が大事。アイデア交流するためにも、青川ネットワークを見に行きたい！

【グループワーク】③　5F 小研修室

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 竹内　ゆみ子	岐阜県高山市	地域の未来・志援センター/理事 まちづくりスポット	里
ファシリテーター補助 伊藤　裕香	三重県	四日市大学	
大岩　仁	三重県伊賀市	四日市ウミガメ保存会	海
桐山　貞善	岐阜県大垣市	楽しい家づくり研究会	里
佐野　正和	三重県四日市市	三重県環境学習情報センター	山・里
辻　久好	三重県いなべ市	地域の未来・志援センター いなべの里山を守る会	里
藤本　春生	三重県東員町		その他
本田　泰敏	愛知県田原市	あかばね塾	里・海

【全体発表より】
課題は大きく分けて 3 つ。「若い人の参加が少ない」「情報」「運営」。中でも特に皆が強調する課題は「若い人の参加が少ない」。その原因として、若者は休みが土日のみ、活動に興味はあったとしてもその情報を得る機会がない、活動に継続性がない、そもそも環境に対しての興味関心がない、子どもと年配の方との価値観の違い、などが挙げられた。
≪解決策≫世代間コミュニケーションが大切である。例えば、子どもを主体とした体験イベントか。また、そのためには子ども＆若い親世代と年配の方をつなぐ、中間の年齢層が必要である。
≪感想≫
今回だけでは話がまとまらなかった。今後もこのような交流の場を設けていくことが重要である。

【グループワーク】④　　5F 大研修室

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 矢口　芳枝	三重県四日市市	(一社)四日市大学エネルギー環境教育研究会/副会長兼事務局長	その他
ファシリテーター補助 川島　潤子	三重県	四日市大学	
杉浦　啓輔	三重県	青川ネットワーク	川
鈴木　一敏	愛知県田原市	渥美半島ハイキングクラブ	山・里
谷﨑　仁美	三重県四日市市	自然観察指導員　三重連絡会	山・川・里・海
服部　真由美	三重県いなべ市	いなべの里山を守る会	山・川・里
藤野戸　紘紀	三重県桑名市	環境学習サークルみえ	その他
箕浦　弘二	岐阜県大垣市	緑の風	里
桐生　敏彦	三重県	みえ北里山づくりの会	

【全体発表より】

■ファシリテーターより：成果として、今日、自己紹介のその場でつながれたことをご報告します。若者の参加者が多く、すぐに facebook で情報交換しあおう！課題の共有、互いが企画する催事の参加の呼びかけをしよう！ということになりました。

≪感想をひとことずつ≫

・集客力のあるプログラムとは？との問いに、『食を入れるのが一番！』との回答に納得！

・楽しい！美味しい！がいいですね。　・大人も自分の遊びの幅を広げて後世に繋げていきたい。

・子供向けの環境教育でも、春夏秋冬の旬の味覚を味わう体験を組み込むといい。

・いろんな情報を集めて助成金をとって活動することも大事だと思った。

【グループワーク】⑤　　5F 情報交換室２

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 近藤　順子	三重県東員町	とういん市民活動支援センター／センター長	里
ファシリテーター補助 加藤　芙実	愛知県瀬戸市	地域の未来・志援センター　インターン（愛知淑徳大学）	
粂　和広	愛知県名古屋市	豊明市立図書館　館長	里
佐藤　仁志	愛知県弥富市		里
千葉　賢	三重県四日市市	四日市大学環境情報学部教授	里・海
戸田　三津夫	静岡県浜松市	静岡大学/准教授	川
西山　光信	三重県桑名市	桑竹会	山
松久　幸義	岐阜県大野町	里山会	山

【全体発表より】
山・川・里・海、それぞれの活動からいろいろな話が共有できた。
川ではイシガメの保護について。本来は外来種、自然にかえした場合、交配して新しい雑種ができてしまうから難しい。海の漂着ゴミ、伊勢湾では大半が針葉樹の倒木等。山の資源、萱場や竹が昔のように使われなくなったため、山林の保全が難しくなった。自然災害≪地震、台風、津波≫のこと etc. ……。豊川の豊かな水をアサリに使うかキャベツに使うかなど、農業問題と動物の保全活動は、現実的には拮抗している問題もある。
高度経済成長期など、昔やってきたことの積み重ねで今の環境問題がある。自分の欲求だけでなく、環境のことをもっと考えていきたい。

【グループワーク】⑥　　5F 情報交換室２

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 神田　浩史	岐阜県垂井町	NPO 法人泉京・垂井/副代表理事	里
大澤　智恵子	岐阜県大垣市	アースデイいびがわ実行委員会	里
小林　礼昌	三重県桑名市	桑竹会	山
小林　三和子	三重県	多度自然育成の会	里
野田　盛二	三重県桑名市	桑員エコリーグ	その他
本田　則子	愛知県田原市	あかばね塾	海
松本　尚子	三重県いなべ市	いなべ市地域おこし協力隊 NPO 法人環境再生職人ネットワーク	

【全体発表より】
≪課題について≫
地元の人にもっと関心を持ってもらいたいが、多くの人は、地元ではなくよその地域に興味がある。ボランティア団体の高齢化が進み、新しい会員が集まらない。20 代～40 代の現役ど真ん中世代が集まらない（食のイベントは有効・垂井町のフェアトレードフェアは 20～40 代を中心に 1 万人参加）。徳山ダムが止まったことで、伊勢湾の答志島で養殖する牡蠣に栄養がいかなくなった。
≪提案≫
人集めをする際、「ボランティア」とうたうのではなく、「共益」「共役」とすれば自分たちの共通の課題として市民も認識できるようになるのでは？

【グループワーク】⑦　　4F 研修室１

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 萩原　喜之	愛知県名古屋市	地域の未来・志援センター/理事	里
生田　久美	三重県四日市市	三重県環境学習情報センター	山・川・里・海
井上　正男	静岡県浜松市	佐鳴湖シジミプロジェクト協議会 さなるこ地域住民ネットワーク	川・その他
河合　良太	岐阜県垂井町	泉京・垂井	里
川島　浩	三重県東員町	NPO法人生ごみリサイクル思考の会	里
坪井　智礼	埼玉県春日部市	民間会社勤務	その他
渡邊　幸久	愛知県田原市	地域の未来・志援センター あかばね塾	海
西田　達弘	三重県鈴鹿市	地球クラブ	

【全体発表より】
今日の参加者のニーズ　①「伝える」こと、子どもや関心のない人に伝えるにはどうしたらよいか
②組織の持続可能性、組織の経営（お金集め）
≪①について：浜松からの参加者・井上さんより提案≫この日のために「市民環境ジャーナル」を昨日創刊。愛知・岐阜・三重・静岡が県境を越えてどうつながるか？　今日議論した内容を深める場としてほしい。このジャーナルの特長は、論説・提案。名刺をいただけばメーリングリストに登録して自動的に会員になれるので、情報交流会後も交流を続けるツールとしてほしい。
≪②について≫経営基盤が大事。収益を上げるためにスモールビジネス、ソーシャルビジネスを活用すればよいのでは。

【グループワーク】⑧　　4F 研修室 1

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 木下　裕美子	三重県いなべ市	NPO 法人いなべ子ども活動支援センター/理事長	里
ファシリテーター補助 浅井　雄大	三重県	四日市大学	
大谷　勝治	三重県東員町	東員自然の会	その他
岡本　賢治	三重県	青川ネットワーク	川
河合　剛	岐阜県大野町	自然共存探究会	山
新海　洋子	愛知県名古屋市	EPO 中部／チーフプロデューサー	その他
隅田　富士子	三重県	多度自然育成の会	里
福井　恒芳	愛知県田原市	渥美半島ハイキングクラブ	山・海

【全体発表より】
≪今後の活動≫
活動に子どもを入れていく、親御さんを入れて、自然の中での体験活動を通して自分たちの住んでいるところの原風景を子どものころに目に焼き付けてほしい。
≪ボランティアは持続できるのか≫
ボランティアであっても、ある程度の対価は必要。北勢を含め、支援センターというのが近頃立ち上がってきている。個々の市民活動が、活動資金（補助金）の調達まで網羅して活動していくのは大変である。支援センターがあることで、そういう問題を預けて活動していけるとよい。細かい話し合いや相談もできて非常に有意義。

【グループワーク】⑨　　4F 研修室２

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 戸田　和男	三重県四日市市	（一社）四日市大学エネルギー環境教育研究会/実務委員長	山・川・里・その他
ファシリテーター補助 澤口　和奈	三重県	ぴたゼミ	
稲田　陽介	三重県桑名市	桑名市政策経営課	その他
岩間　誠	岐阜県揖斐川町	地域の未来・志援センター いびがわミズみずエコステーション	川・里
鬼頭　志朗（欠席）	三重県四日市市	いなべの里山を守る会 山造り研究所	山
田中　利明	三重県	青川ネットワーク	川
内木　一久	岐阜県大垣市	アースデイいびがわ実行委員会	里
松田　良弘	三重県桑名市	木曽三川　千本松原を愛する会	川・里・その他

【全体発表より】
≪キーワードは『協働』≫
木曽三川の流域のつながりについて話し合った。流域の課題解決は、利害関係者が多く非常に難しいのが実情。この問題は国交省、この問題は岐阜県＊＊局と、所轄する行政もバラバラ。どのように複数の行政機関、企業、利害関係者等との関係を構築していったらいいのか？
そこに対し、枠を越えてつながることができる NPO の役割が大きい。NPO 同士が行政枠を越えてつながり、各行政に声をかけ、つないでいくことが大事になってくる。

【グループワーク】⑩　　4F 研修室２

お名前	市町村	所属／役職	フィールド
ファシリテーター 中川　恵子	愛知県名古屋市	地域の未来・志援センター/理事	里
ファシリテーター補助 近藤　実千代	三重県	四日市大学エネルギー環境教育研究会	その他
浅野　かつ代	岐阜県輪之内町	ピープルズコミュニティ	里
伊藤　公一	三重県東員町	紫陽花倶楽部	川・里・その他
大槻　義弘	三重県四日市市	PPK四日市	里山
大場　可	愛知県田原市	あかばね塾	海
大橋　三栄子	岐阜県輪之内町	ピープルズコミュニティ	里
辻　郁子	大阪府大阪市	エコネット近畿	山

【全体発表より】
■ファシリテーターより：この短時間で８人で何を生み出せるか？にチャレンジした。
メンバーには山で竹林整備・里山保全をしている人、海でゴミ拾いをしている人、里でゴミの分別回収・堆肥化と食に関する活動をしている人、川辺にアジサイを植えるている人がいた。たまにはそれぞれの活動フィールドをチェンジして、交流を深めることができるのではないか？
≪キーワードは『竹』≫
竹を伐り出し、海の堆砂垣を作れるのではないか？　竹林整備活動で採れたタケノコで国産メンマにチャレンジしてはどうか（里のお母さんたちの技を生かせるのでは）？　竹粉を畑にまくことができるのでは？　これらを学生や地域の方に手伝ってもらいながら広めていけるのではないか？

【全体会・告知タイム・閉会式】　5F 大研修室

↑①　↑②　↑③　↑④

① 「地域と世界がつながるフォーラム」を紹介する泉京・垂井 副代表理事神田氏
② 「アースデイいびがわ」を紹介する西濃環境 NPO ネットワーク事務局長（当団体理事）岩間氏
③ 「ESD 先駆的拠点支援事業」を紹介する EPO 中部・新海チーフプロデューサーとプロジェクト担当の河合氏
④ 「助成金セミナー」を紹介する当団体事務局スタッフの坂本

グループワーク終了後、15：00 より全体会が行われました。最初の 50 分は、各グループからの発表により、ワークの内容を全体共有。その後、告知タイムとして、「地域と世界がつながるフォーラム」「アースデイいびがわ」「ESD 先駆的拠点支援事業」「助成金セミナー」4 企画の紹介が行われました。

続いて閉会式では、地元協力者を代表して環境教育ネクストステップ研究会代表の寺田氏よりご挨拶をいただき、第一部は終了しました。

【アンケート結果より】（アンケート集計の詳細については後日）
今回のテーマは、情報交流会後もつながれる出会いをグループワークで得ること。アンケートの設問≪グループワークでは、その後もつながりたい団体（活動者）と出会えましたか？≫に対し、アンケート回答者 63 名中 58 名が「はい」と回答（アンケート回収率は 86%）。全参加者を鑑みて 80%近い人がつながりたい相手が見つかったとの手応えであった。事後の報告、追跡がのぞまれる。

★参加者全員で記念撮影！★

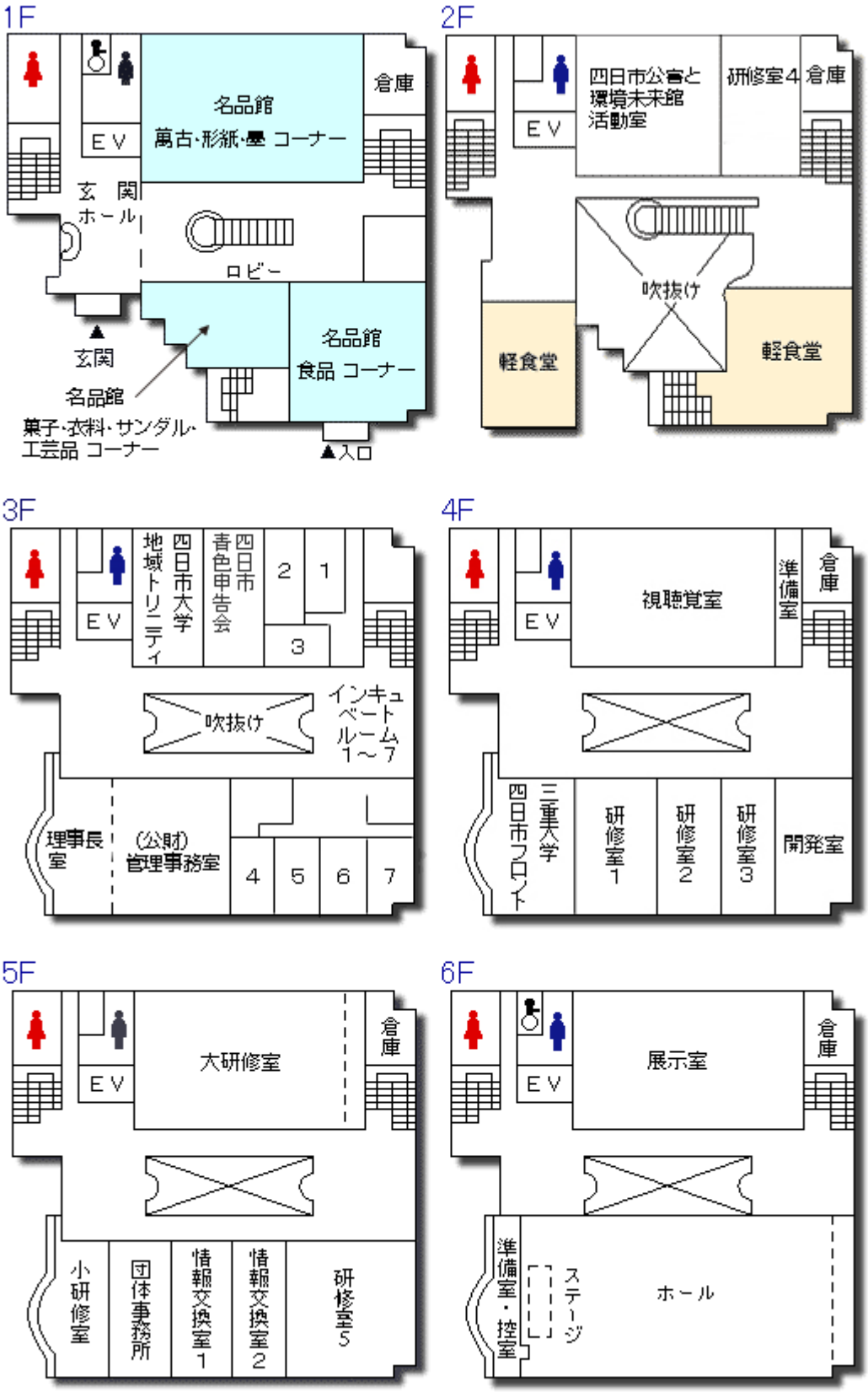
第二部　懇親会　会場：6F 展示室

当団体会員であり、本交流会を地元中心者として支えてくださった川島氏（NPO 法人生ごみリサイクル思考の会　理事長）の音頭で乾杯！

←三重県北勢地域・上げ馬神事で有名な多度大社がある地域より差し入れ『多度豆』が届きました！その由来を説明する NPO 法人多度自然育成の会の皆さん

18：00 より行われた懇親会には、63 名が参加。川島氏の音頭でカンパイを行い、その後 2 時間、グループワークで話したりなかった者同士、また、新たな出会いを求め、活発な交流が繰り広げられました。

最後は、次年度の愛知での再会を期して、当団体渡邊理事（愛知県渥美半島）より閉会の辞が述べられ、全てのプログラムが無事、終了致しました。

以上

じばさん三重　フロアマップ